

# 学校給食に地元産食材はどのくらい つかわれているのでしょうか？

こめ、牛肉、生鮮たまごは、100%！大田市産をつかっています

学校給食にできるだけ新鮮でおいしい地元産食材を使うための取り組みをしています。  
お米は大田市産のコシヒカリを、牛肉は地元の牧草と稲わらで育った放牧牛を、たまごは  
地元養鶏場の鶏卵をつかっています。

## 平成27年度地産地消の割合

○品目ベース(市内産) 49.1% (H26年度 60.3%)

○品目ベース(県内産) 65.8% (H26年度 71.8%)

□出典:H27島根県学校給食の食材仕入れ状況調査 結果より

### 1. 平成27年度大田市の地元産品の利用状況

食材分類 (11分類)	産地		
	大田市産	県内産	合計
米	100.0%	0.0%	100.0%
いも類	7.7%	0.0%	7.7%
豆類	100.0%	0.0%	100.0%
野菜類	50.6%	7.2%	57.8%
果実類	66.7%	0.0%	66.7%
きのこ類	66.7%	16.7%	83.4%
魚介類	73.3%	20.0%	93.3%
肉類	20.0%	70.0%	90.0%
卵類	100.0%	0.0%	100.0%
乳製品牛乳含む	0.0%	76.9%	76.9%
調理加工品	0.0%	100.0%	100.0%
<b>総計</b>	<b>49.1%</b>	<b>16.7%</b>	<b>65.8%</b>
(参)H26総計	60.3%	11.5%	71.8%

### 2. 平成27年度市町村の状況

市町村名	H27年度		
	地元産	県内産	合計
松江市			41.5%
安来市			59.4%
出雲市			66.2%
雲南市			54.6%
奥出雲町			49.7%
飯南町			51.6%
浜田市			71.4%
<b>大田市</b>	<b>49.1%</b>	<b>16.7%</b>	<b>65.8%</b>
江津市			57.2%
川本町			55.8%
美郷町			79.9%
邑南町			59.4%
益田市			63.1%
津和野町			68.2%
吉賀町			66.2%
隠岐の島町			48.5%
海士町			81.7%
西ノ島町			49.7%
知夫村			75.2%
市町村平均			58.6%

#### \*平成27年度の取り組み

前年度に引き続き、学校給食地産地消コーディネーターが積極的に市内を駆け巡り、多くの地元食材を学校給食に取り入れてお届けすることができたと思います。

約3,200食のセンターでは、地元の食材を、質、量ともに揃えることが大変難しく、地元食材の使用状況は、その年の天候等に大きく左右されます。

平成27年度の地産地消率は、天候等の影響により、前年度を下回る結果となりました。

具体的には、人参、ねぎ、ほうれん草、きゅうり、生姜、春菊が前年度に比べると十分に使えなかったことが要因であると分析しています。

今後、食材の貯蔵方法、加工処理等何ができるのか大田市関係部局はもとより、島根県、JA、生産者、加工業者等連携を図りながら、地産地消の推進に努めて参りたいと考えております。